

ギャラリー

東本願寺のギャラリーは、寺の文化拠点である視聴覚ホール棟にある。常設展示では、浄土真宗の開祖である親鸞（1173-1262）の生涯を、日本語と英語のバイリンガルパネルで紹介している。年 4 回の企画展では、東本願寺の歴史や活動、人権、自然などをテーマにした展示を行っている。また、2004 年から 2016 年にかけて行われた伽藍の改修の様子や、親鸞や東本願寺にゆかりのある京都の名所なども紹介されている。入館は無料。

この建物には、講義や説法が行われる視聴覚ホールのほか、仏壇の部屋や受付などがある。ほとんどが地下にあり、天井がガラス張りになっているため、自然光が十分に入り込む構造になっている。設計は未来的な建物で知られている高松伸（1948 年生まれ）によるもの。浄土真宗を再生し、日本最大の仏教宗派の一つとなる礎を築いたとされる本願寺第 8 代門首・蓮如（1415-1499）の 500 回目の法要に合わせて 1998 年にオープンした。